

1. プログラム概要

プログラム名	シンガポール短期体験留学 @南洋ポリテクニック (NYP)
実施期間	2024 年 9 月 4 日（水） から 11 日（水） までの 1 週間
対象	初海外渡航者や異文化交流に興味がある学生
目的及び内容	本学協定校・南洋ポリテクニックにて、英語を学び、現地のバディ学生と交流を行う。そのほか、現地日系企業を訪問も行う。今後の異文化交流や言語学習のモチベーションが高まるような異文化交流を行い、醸成を図る。

2. プログラム成果報告は下段表参照（全参加者のスコア平均）

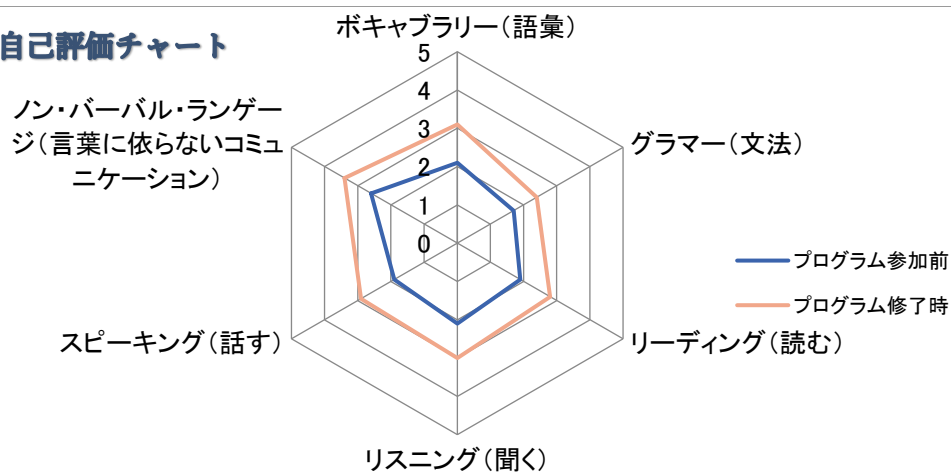
項目	要素	参加前	修了時
コミュニケーション力	ボキャブラリー（語彙）	2.1	3.1
	文法（文法）	1.7	2.4
	リーディング（読む）	1.9	2.8
	リスニング（聞く）	2.1	3
	スピーキング（話す）	1.9	2.9
	ノン・バーバル・ランゲージ（言葉に依らないコミュニケーション）	2.6	3.4
語学力合計点		12.3	17.6

異文化適応能力	洞察力	2.9	3.6
	傾聴力	2.7	3.6
	柔軟性	2.6	3.4
	受容性	3.1	3.9
	共感性	2.6	3.5
	持続力	2.7	3.9
異文化適応能力合計点		16.6	21.9

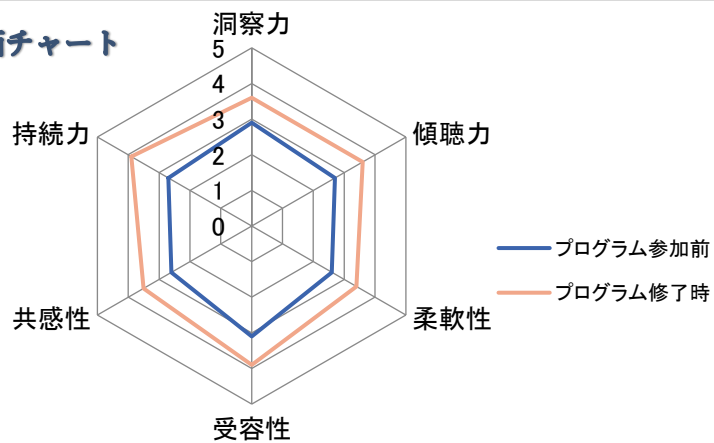
人間力	主体性・積極性	2.6	3.4
	チャレンジ精神	3	3.9
	発信力	2.6	3.1
	責任感・使命感	2.3	3.2
	協調性	2.4	3.4
	ストレスコントロール力	3.1	3.9
	規律性	2.9	3.6
人間力合計点		18.9	24.5

3. 自己評価チャート

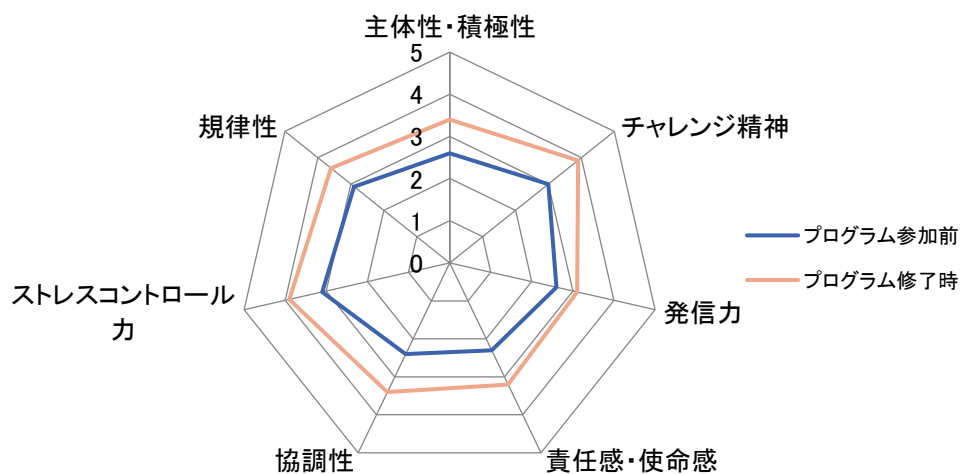
語学力自己評価チャート



異文化適応能力自己評価チャート



人間力、社会人基礎力自己評価チャート



4. プログラム報告書

1 特に専念した学習項目を教えてください。
●英語プレゼンテーション ●英会話
2 その成果について教えてください。
●発音や単語を調べるきっかけになり、発音や単語を幅広く学べた。 ●最後のほうではサポートなしに先生の話が理解できた。
3 現地大学や本学職員の対応はどうか？
●聞き取りやすいように英語のスピードを落としてもらったり、フレンドリーに話しかけてもらった。 ●教職員やバディの学生、食堂の職員などみんな優しくかった。 ●大学の先生は毎回笑顔で話しかけてくれてとても好印象。廊下で会った時も話しかけてくれて覚えてくれた事が嬉しかった。
4 大学・学校生活中、トラブルはありましたか？それをどのように解決したか教えてください。
●ブレーカーが落ちたが、業者の方が速やかに対応した。 ●1 人の日本人学生がスーツを忘れたことを空港に行く途中で思い出して、パートナーの子が空港まで届けてくれた。 ●入寮初日に部屋のエアコンが効かず、マットレスを移動してリビングで寝た。 ●先生の話すスピードが速くて聞き取れないことがあったが、バディに隣に来てもらいどんなことを話しているのか聞いたり直接先生に聞き対応した。
5 その他（任意）
●特になし
6 現地の人と交流して気づいた異なる習慣はありますか？異文化コミュニケーション・カルチャーショックを教えてください。
●駅のホームでも飲食が禁止されている。 ●真水が無く、飲食店では料金を払う必要があった ●日本と異なる環境で生活をしたことで忍耐力が身についた・これまで当たり前だと思っていた環境に感謝する気持ち。 ●現地の人はとてもフレンドリーで年齢問わず積極的に話している感じがありました。日本では年上の人と話すときは敬語が当たり前で少し距離を置いている感じがあるのでシンガポールでは逆に驚いた。 ●マナーが厳しく、ゴミが全然落ちてなかった。多文化社会で色々な衣食を見ることができた。 ●18 歳からお酒が飲める。 ●英語をよく使うが、中国語も使うことがある。
7 留学プログラムに参加して、身に着けることのできた知識やスキルはどんなものですか？
●想定外の事態が起きても冷静に対処することができる対応力がついた。 ●1 週間だったので得られるスキルは特にないが、もともと持っていたスキルのレベルが上がった気はする。 ●わからないことがあれば日本人メンバーに聞くのではなく直接現地の学生や先生に聞くことができた。 ●英語と日本語の切り替えが早くなり、頭も疲れにくくなった。 ●英語で考えられる内容が増え、すぐに英語が出てくるようになり語学力が格段に向上した。
8 留学プログラムを通してどんなことを学び取りましたか？
●現地の人がどんな言葉をよく使うのかがよくわかった。 ●どのような事態が起きてもいかに備える事、どんなトラブルが起きてもどうにか対処できるという事・心の余裕を持つ事。 ●拙い英語でも割と通じることを学んだ。 ●実際に現地の環境で学んだことで日本とは違う考え方やルールを自分自身で体験することができて今まで考えてこなかったことなど学ぶことができた。 ●適応力とコミュニケーション能力を向上させることができ、帰国後も留学先で出会った友人と SNS を通じて交流を続けている。 ●文化の多様性と英語の必需性。最初は不安でも、生活する中で慣れて楽しくなった。 ●異文化に触れて気が付く日本の特徴や魅力があった。

9 プログラムに参加して、自分に足りないと感じた知識やスキル等、学生が準備しておくよりよいことを教えて下さい。

- リスニング力、発音の勉強が少し足りないと感じた。
- 自身の単語力のなさを実感したので事前に準備しておけば良かったと思った。
- 熟語の語彙が足りない。もっと熟語を覚えて英会話力を上げていればよかったなと感じた。
- 圧倒的に英語力の不足を感じた。空港での英語のやり取りを学ぶ必要があると感じた。日常的なコミュニケーションや自己紹介が英語のできる程度の英語力が必要だと思う。
- 伝えたいことが伝わらないときは違う言い方を使うためにボキャブラリーを増やしておくといいと思った。
- 英語力を鍛えておかなければならないことはもちろんだが、何よりもコミュニケーションを積極的にとろうとしないといけない。出発前の留学生同士の交流をもう少し行った方が良かったと感じた。あちらに着いてから日本人同士でコミュニケーションをとる時間は勿体ない。

10 制度 ● 通学 ● 学費 ● 生活費 ● 観光などで次の学生に勧めてあげられるものはありますか？

- シンガポールは渡航費も高くなく、現地の物価もあまり高くないので気軽に行きやすい。
- 全ての面でおすすめできるし自分ももう一度参加したい

11 プログラムを修了し、帰国後はどんな学生生活の計画を立てていますか？卒業後の計画も踏まえて書いて下さい。

- 英語をしっかりと聞けて話せるようになって、卒業後は英語を使う仕事をしたいと考えている。
- 今後の学生生活としては、今回シンガポールに留学した経験を来年カンボジアに行く際に生かしていきたいと思う。また、卒業後の計画としては海外事業と関りのある仕事につきたい。
- 今後は、英語の語学勉強に力を入れたい。日常的に英語に触れる環境で過ごしたい。大学卒業までに英検 2 級や TOEIC に挑戦したい。大学 2 年以降の長期休暇中にヨーロッパに行きたい。
- 国際交流サークルに所属しているので私がシンガポールでしてもらったことを留学生にもしてあげて日本のことを発信したいと思った。海外にまた行きたいと強く思った。
- 英語を本当に努力すると決心がついたし、グローバルな職業への興味を持つことができた。
- 来年はカナダへ留学をしたい

12 その他、プログラムへの要望 ● 意見がありましたら記入下さい。

- ・非常に勉強になるプログラムだった・欧州への 3 週間程度の留学プログラムがあると嬉しい